長崎市立滑石小学校　校長室だより　Ｎｏ78

1月 今日の一言

６．１．９　校長　渕上　卓也

もうすぐ〇年生

新しい年を迎えました。そして締めくくりの３学期となりました。本年もどうぞよろしくお願いします。

元日の能登半島地震においては、多くの尊い命が失われました。また、翌日には、被災地へ向かっていた海上保安庁の飛行機事故が起き、犠牲者が出てしまいました。心からご冥福をお祈りいたします。始業式でも地震の話はしました。元日早々の出来事だっただけに、ショックが大きかった子どもたちも多かったのではないでしょうか。「いつどこで何が起こるか分からないこと。」「自分の命は、自分で守る気持ちを忘れないこと。」今伝えられることは、このくらいです。被災地の皆様の生活が少しでも安定するよう願うばかりです。

さて、始業式でもう一つ話したのは、「もうすぐ〇年生」の心の準備をしてほしいということです。進級するということは、心も体も頭もしっかり成長したということですからね。伝えたのは、

もうすぐ２、３年生
「自分でできることは、言われなくても自分ですること。」
もうすぐ４、５年生
「正しいと思う行動を、しっかり考えてすること。」
もうすぐ６年生、中学生
「下級生の憧れになること。そのためにもうすぐ６年生は、アシストと併せてリーダーシップも発揮してほしい。もうすぐ中学生は、記録だけでなく記憶に残る６年生として卒業してくれることを願っている。」

それぞれの学年に対して私が伝えたことを意識して３学期を過ごし、心の準備をして進級・進学してくれると信じています。

さあ、短いけれど、とても大切な３学期のスタートです。

＜今日の一句＞
辰年に
た のしい日々が
つ づくよう　卓也